

こおろぎ

発行日 2004年1月1日 **No.130**
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

年賀状を書こう！

明けまして、おめでとうございます。

今年もたくさんの年賀状を、ありがとうございました。

私は不登校の子どもさんのカウンセリングをしたり、非常勤講師として中学校で「道徳」の授業をさせてもらっていますが、そうした機会には「幸せになりたかったら、お世話になった友達や先生、親戚に年賀状を書こう！」「両面全てが印刷された年賀状もありますが、せめて宛名と一言メッセージを手で書こう！」と言っています。

最近では、年賀状を書くより、勉強をしている方が親から褒められる家が多くなったかもしれませんが、勉強は自分のための努力で、ある意味では利己的な努力といえるかもしれません。

どんなに力持ちでも、自分で自分を持ち上げられないように、自分への働きかけだけでは、自分を幸せにすることは出来ないのです。

少し前までは、物が豊かになり、生活が便利になったら幸せになれると多くの方が思っていました。そうだとすれば今の日本は人類史上、最も幸せな人たちが住む国のはずです。今、不況で苦しんでいる方もいらっしゃると思いますが、他の国と比べたら、日本はまだまだ飛びぬけて豊かな国なのです。

不況から抜け出したら、本当に幸せになれるのでしょうか？

生活が便利になればなるほど、自分が生きている手応えや、人と支え合っている実感（リアリティ）を得られにくくなっていくのです。

ではどうしたら、充実した人生が得られるのでしょうか？

ポイントは三つだと思います。

「全ての不幸は、不足から始まるのではなく、あり余ることから始まる」という言葉がありますが、

- 1、出来るだけ質素な生活をする
- 2、何事も精一杯やる
- 3、人を大切にし、人を喜ばすこと だと思います。

人を大切にしない人が、幸せになれる訳はないと思います。

もしかしたら私たちは、子ども達にたくさんの物を与え、苦労しないようにし、自分だけのための努力をさせているのかもしれませんが、もし、そうだとしたら、子ども達に誤った生き方（幸せになる方法）を教え込んでいるのかもしれないですね。

皆さんは、今年、何人の方に年賀状を書きましたか？

息子が正月に帰省して来ました。行動範囲が広くなり体は一つ、心は三つという様子でしたので、私の「複写はがき」と、その整理の仕方を見せました。すると息子の方から「複写はがきの控えが欲しい。埼玉へ戻ったら早速実行する。」と言ってくれました。

私は親として初めて、子どもをお金でつる以外の方法で、即、実行したくなることを教えた気がします。

息子のおかげで幸せになりました。 後藤光博

いつもお葉書ありがとうございました。

私も九十四歳になりました。この歳になると本当に人から便りなどなくなりません。それでも毎日、郵便受けを見て暮らしています。

先日、テレビでゴミを集める年寄りが出ていましたが、そんな人の気持ちが少しわかる気がします。たった一枚のハガキが恋しく、自分があることを感じています。

ありがとうございました。

雨の中の募金

私は、毎年大晦日の12時から1時までの間、静岡の商店街で街頭募金をしています。

始めて15年になりますが、昨年、初めて雨の中の募金となりました。

募金で集まったお金は、愛知の目の見えない子ども達の施設と、岡山の学校に寄付しています。

本当に少ない金額ですが自分達で「募金」をして集めたお金を送らせてもらおうと思っています。

私の場合、どうしても一年を利己的に生きているので、年の終わりの一時間だけでも、こうした時間を持つとうと思うのです。

毎年、始めるまでは億劫なのが正直なところですが、いざ募金を始め、募金をしてくださった方に、「どうぞ良いお年をお迎えください！」と声をかけていると、とても幸せな気持ちになってきます。

やはり人は、自分を幸せにしようとするときに幸せになるのではなく、人の幸せを祈るときに、幸せになれるようです。

良い仲間とこうした時間を持つことを、本当に幸せに思いますし、こうしたことが私の子育てだと思っています。

皆さんの今年が、良い年になりますように！

娘たちへのマフラー、ありがとうございます。

昨年の大晦日、久しぶりに娘たちと募金に参加させていただきました。小学生の娘たちは、声も出せず、ただ棒立ち状態でしたが、終わり頃には小声で「ありがとうございます」と言っていました。

「もし子どもが募金してくれたらあげよう！」と言って、自分達で絵を描いて小さなカードを作ってくれました。渡したの数は数枚でしたが、見ていてとても嬉しかったです。

そんなことのご褒美にマフラーをいただいたのかと思っています。娘たちも喜んでいました。

お便りコーナー

昨日は、講演ありがとうございました。

私も「勉強しなさい！」のボタンをたくさん押してきました。出てきたのは、確かに「ウルセー、クソババ」でした。

「もう押すのはやめよう！」と会場では思いましたが、家に戻って子どもの顔を見るとついつい言いたくなります。そこで「ボタン、ボタン」と言い、笑顔。

笑顔。自分これでいいと思っています。

でも、ささやかな抵抗で、今朝、「努力こそ才能である」という、「こおろぎ」の言葉を、机の上に「テー」と張りました。

子どもが帰ってきたときの反応が楽しみです。

私は字が下手で、コンプレックスを持って四〇年習字を習い始めて五年になります。筆とペンが違うのか、なかなか上手くなりませんが、いいじゃないのと思っ、せつせとハガキを書くことにしました。

ありがとうございました。

決して私の講演をご理解いただけとは思えませんが、面白いので、ご紹介します（笑）。でも、このお母さんなら、私の講演など聞かなくても、きっと上手くやっていることでしょう！

このお母さん、タダモノでないと思いました。「イケてます！！」